

平成28年度 先端電子材料・デバイス技術フォーラム

一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)では、「電子材料・デバイス技術専門委員会」を設置し、IT・エレクトロニクス産業の今後の発展にとって重要な電子材料・デバイス技術の動向調査を行っています。このたび「先端電子材料・デバイス技術フォーラム」を開催し、平成26年度からの2年間で実施しました「ウェアラブル機器における電子材料・デバイス技術」、「ヘルスケアデバイス・システム技術」、「エネルギー管理・キーデバイス技術」の各分科会活動を紹介するとともに塚本昌彦氏(神戸大学)、橋口寛氏(株ユーフォリア)、藤井裕久氏(株野村総合研究所)の3名のエキスパートの皆様をお招きして、ご講演いただくこととしております。この機会に関係者の皆様にご参加を頂き、各社のビジネスにおける飛躍の契機に役立てて頂ければ幸いです。

日時	平成28年7月4日(月) 13時～17時15分	場所	一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル4階 (401～403会議室)
	参加費		会員 3,000円(税込) 一般 7,000円(税込)

■当日のプログラムの内容につきましては、変更となる場合もございますのであらかじめご承知おきください。

Program

司会 安田 哲二 電子材料・デバイス技術専門委員会幹事〔産業技術総合研究所〕

13:00	開会挨拶 原 直紀 電子材料・デバイス技術専門委員会委員長 [(株)富士通研究所]
13:05～ 13:45	<p>第1部 ～ IT・エレクトロニクスが支える未来 ～</p> <p>● 「見えてきたウェアラブル機器のカタチと今後の展望」 塚本 昌彦 氏 神戸大学大学院工学研究科電気電子工学専攻 教授</p> <p>10年以上にわたり多くの企業がウェアラブル機器を商品化してきたが、なかなかマーケットを立ち上げることができていない。Google Glass、Apple Watchもウェアラブル機器業界に大きなインパクトを与えるものだったが、難航している。おそらく今年から来年にかけて、海外の大きな次のステップが生まれてきて、世界規模でウェアラブル機器の方向性が見えてくるものと思われる。本講演ではそのようなウェアラブル機器のカタチと今後の方向性について、具体的に解説する。</p>
13:45～ 14:25	<p>● 「トップスポーツにおけるクラウド活用の体調管理(事例)と今後の課題」 橋口 寛 氏 株式会社ユーフォリア 代表取締役</p> <p>さまざまな競技分野において、パフォーマンス向上や怪我予防を目的としてクラウドデータベースを活用した体調管理が広がっている。ラグビー日本代表チームの事例を中心として実際の活用方法と今後の課題について紹介する。</p>
14:25～ 15:05	<p>● 「現在のデータセンター設備運営における課題と対策 -事業者側の視点」 藤井 裕久 氏 株式会社 野村総合研究所 DC マネジメント部 部長</p> <p>社会の情報化が急速に進む現代において、ICT 機器を内包し、安定稼働させるための施設(データセンター)が注目されている。データセンターには、高度なセキュリティや多重化された設備が具備され、24時間365日停止することなく運用されている。本公演では現代のデータセンターにおける、課題とその対策事例を事業者の視点で紹介する。</p>

～休憩～

15:15～ 15:55	<p>第2部 ～ 電子材料・デバイス技術の展望 ～</p> <p>● 「ウェアラブル機器における電子材料・デバイス技術動向」 染谷 隆夫 氏 ウェアラブル機器における電子材料・デバイス技術分科会委員長 〔東京大学大学院 工学系研究科電気系工学専攻 教授〕</p>
15:55～ 16:35	<p>● 「ヘルスケアデバイス・システム技術動向」 田中 徹 氏 ヘルスケアデバイス・システム技術分科会委員長 〔東北大学大学院 医工学研究科医工学専攻 教授〕</p>
16:35～ 17:15	<p>● 「エネルギー管理・キーデバイス技術動向」 舟木 剛 氏 エネルギー管理・キーデバイス技術分科会委員長 〔大阪大学大学院 工学研究科電気電子情報工学専攻 教授〕</p>

※ 委員会名及び委員会での役職は、基本的に平成27年度のものとなります。

平成28年度 先端電子材料・デバイス技術フォーラム

～IT・エレクトロニクスが支える未来～

参加要領

JEITA

- 日 時 平成28年7月4日(月) 13:00～17:15
 - 場 所 一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) 401-403会議室
東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル4階
<http://www.jeita.or.jp/japanese/about/location/>
 - 申込方法 参加申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。登録完了時には、ご登録E-Mailアドレスに「受講票」をお送り致します。また、ご登録のご住所宛に「請求書」をお送り致します。
下記のURLもご参照ください。
<http://home.jeita.or.jp/tech/>
 - 申込期限 平成28年6月27日(月) 必着
 - 定 員 80名 (定員になり次第締め切らせて頂きますので、お早めにお申し込み下さい。)
 - 参加費 会員 3,000円(税込)
一般 7,000円(税込)
- ※平成28年度JEITA「電子材料・デバイス技術専門委員会」参加企業は無料。
※講演資料として、27年度の各分科会報告書より要約部分を抜粋した冊子「先端基盤技術動向調査2016 概要」を、当日配布します。
- お問合せ先 一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA)
知的基盤部 技術戦略グループ
TEL 03-5218-1059 E-mail ts2016@jeita.or.jp



会場へのアクセス

- JR「東京駅」 徒歩12分
 - 東京メトロ 千代田線・東西線・半蔵門線・丸の内線・都営三田線「大手町駅」
- ※ C9出口より徒歩1分(各路線・各駅ともビル地下1階連絡通路より直結)

一般社団法人 電子情報技術産業協会／知的基盤部行
E-mail: ts2016@jeita.or.jp (FAX: 03-5218-1078)

平成28年度 先端電子材料・デバイス技術フォーラム参加申込書

(いづれかに○をつけて下さい)

貴社名	会員確認	会員	一般(非会員)
-----	------	----	---------

※ 会員／一般(非会員)の確認は、JEITA会員一覧<<http://www.jeita.or.jp/cgi-bin/member/list.cgi>>でお願いします。

出席者氏名	所属役職名
連絡先住所 (〒)	
TEL番号	FAX番号
E-mail	

※ 複数名の参加申込みの場合は、下記にお書き下さい。(受講票と請求書は、出席者毎に別々にお送りします。)

出席者氏名	所属役職名
連絡先住所 (〒)	
TEL番号	FAX番号
E-mail	